

県内各地で、幅広い分野で中長期的な発展が期待できる数多くの開発プロジェクトが同時進行

県内経済は、震災復興関連予算の執行が順調なほか、レジャー・大型商業施設等も好調を維持しているが、一方で海外経済の減速を背景に生産や輸出が減退していることなどから、足許では持ち直しの動きが一服している。しかし県内では、道路、空港、港湾、物流、工業団地、駅舎建て替え、駅前地区の再開発、大型商業施設の新設、大型マンション開発など、インフラ整備やまちづくりの幅広い分野で、中長期的な経済発展が期待できるプロジェクトが目白押しであり、将来的な潜在力の高さを示している。

東京都に隣接した立地で、地価も都内や神奈川県、埼玉県と比較して相対的に安いという千葉県の特徴は、人が居住するエリアとして、優位性は高い。実際に05年から10年までの千葉県の人口伸び率は東京都、神奈川県に次ぐ全国第3位となっていることがその証だといえる。震災の影響などもあり、ここ1年ほど人口の増加は止まっているものの、もともと経済発展のポテンシャルは高い地域だけに、幅広い分野で数多くの開発プロジェクトが県内で進捗しているものと考えられる。

千葉県が持つ潜在力や、進捗中のプロジェクトなどを考えあわせると、中長期的には千葉県の経済発展が大いに期待できる。(弓野)

現在進行中の県内主要開発プロジェクトの概要

道路	首都圏中央自動車連絡道 (圏央道)	・2012年度中に木更津～東金間が開通の予定。残りの県内未開通区間についても、県による用地取得のためのプロジェクトチームの立ち上げ、住民向け説明会の実施など、早期開通に向けた動きが活発になってきている
住宅開発	新船橋駅前地区開発	・新船橋駅前地区の工場跡地に5つの街区を設置し、1,500戸のマンションを建設中 ・2013年1月から3期に分けて建物竣工の予定
商業	酒々井プレミアムアウトレット	・2013年春に東関東自動車道酒々井IC隣接地に開業予定。成田空港との近接性という強みを活かして、国内に加え外国人需要も見込んでいる
住宅開発	津田沼駅南口再開発	・津田沼駅南口地区約350,000㎡で土地区画整理事業が進行中。計画人口は7,000人 ・パークハウス津田沼奏の杜(全721戸マンション、完売済)は2013年5月竣工予定
商業	イオンモール幕張新都心(仮称)	・2013年下期に幕張新都心地区新駅予定地前に開業予定。旗艦店の位置付けのもと、同社施設の中でもトップクラスの年間2,500万人の来場を想定している
住宅開発	稲毛駅近隣住宅開発	・稲毛駅徒歩5分の工場跡地に、総戸数929戸の大規模マンション建設が着工 ・2014年2月から2015年2月にかけて、順次建物が竣工する予定
駅前開発	柏の葉スマートシティプロジェクト	・2014年春に竣工の予定で、柏の葉キャンパス駅前148街区で、多様なスマートシティ機能が備わった商業・オフィス棟とホテル・住宅棟が工事中
空港	成田国際空港	・2014年度中に年間発着回数30万回に増枠予定。今年よりLCCの発着がスタートし、2015年春にはLCC専用ターミナルも完成するなど、機能強化が進んでいる
道路	東京外かく環状道路(外環道)	・2015年度中に県内区間(松戸市小山から市川市高谷までの約12.1km)の全線開通に向けて工事中。既存道路の慢性的な渋滞を緩和する役割が期待されている
駅前開発	柏駅前再開発	・2015年11月の完成を目指して、柏駅東口地区に商業施設と260戸のマンションが入居する27階建て高層ビル建築計画がスタート
港湾	千葉みなと旅客船棧橋	・2015年度に供用の予定。賑わいのあるウォーターフロント空間の創出を目指して、千葉みなとで旅客用棧橋を建設中。
駅舎	船橋駅舎建て替え事業	・2015年駅ビル開業予定(駅舎改良工事は2012年冬完了予定) ・地上10階地下1階、ショッピングセンターとビジネスホテルが入居予定
駅舎	千葉駅舎建て替え事業	・2016年夏新駅舎開業、2018年春駅ビル全面開業予定 ・地上7階地下1階、駅ビル:46,000㎡、エキナカ:8,000㎡
道路	北千葉道路	・2016年度中の暫定供用開始を目指して工事中。印旛～成田間13.5kmで、国施工区間と県施工区間があり、完成後は成田空港へのアクセス改善が見込まれている
駅前開発	千葉駅周辺再開発	・東口駅前(千葉西銀座地区)ビル建て替え再開発は、2017年度の全面開業を目指す ・西口再開発によるビル3棟(事務所・店舗ビル、ホテル)は2013年秋頃完成予定